

平成31年度当初予算案の特色



I 政策の推進

『FUKUOKA NEXT』の取組みの加速

サポートが必要な **子どもたち** のために

★新規 ☆拡充

今、必要な取組みを

幼児教育・保育

- ★幼児教育・保育無償化
- ★保育士奨学金返済支援事業補助金
- ☆保育所等整備費助成
- ・保育所等におけるICT化推進

経済的支援

- ★再接種費用の助成（予防接種）
- ☆小・中学校入学準備金の充実
- ☆未婚のひとり親への子育てサービス利用支援

障がい・医療的ケア

- ★新生児聴覚検査費用の助成
- ☆医療的ケア児保育モデル事業
- ★小・中学校における医療的ケア支援
- ★市立高等学校における通級指導の実施
- ★大学等修学における身体介護の提供

いじめ・不登校

- ★SNSを活用した教育相談
- ★教育ICT活用推進事業（遠隔教育による支援）
- ☆スクールソーシャルワーカー活用事業

安全・安心

- ★虐待防止緊急総合対策関連事業
- ★IoTを活用した子ども見守り事業
- ★防犯情報配信事業

将来、チャレンジできるまちへ

- ★エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進
- ☆スタートアップ支援施設事業 (Fukuoka Growth Nextの運営)
- ★福岡市開業ワンストップセンター (特区制度を活用した体制整備)
- ☆グローバルスタートアップ推進事業
- ★eスポーツビジネス創出事業
- ☆Society5.0 (超スマート社会) へのチャレンジ
- ☆市街化調整区域の活性化
- ☆大規模国際スポーツ大会の開催等
- ★持続可能な観光振興の検討

未来につながる都市基盤を

- ・天神ビッグバンの西のゲート～旧大名小学校跡地のまちづくり～
- ☆ウォーターフロントネクスト
- ・歴史・文化に配慮した道づくり～博多旧市街プロジェクト～
- ☆九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり
- ・拠点文化施設整備事業
- ☆美術館リニューアル事業
- ・動植物園再生事業
- ・博多区庁舎の耐震対策
- ☆水道管路・重要土木構造物や下水道施設の耐震化

II 将来にわたり持続可能な財政運営の推進

○市債残高を着実に縮減
 [一般会計] ▲157億円
 [全会計※] ▲603億円
※満期一括積立金を除く

○歳入確保, 行政運営の効率化等による財源の確保
 42億円

III 平成31年度当初予算案の特徴

(増減は平成30年度当初予算比)

○一般会計は過去最大規模
 8,666億円 (+279億円)

○市税収入が増加
 +167億円
〔 県費負担教職員制度の権限移譲に伴う税率変更の影響を除いた場合 +130億 〕

○子どもが健やかに育つ環境の充実
 こども育成費 +70億円

○扶助費等の社会保障関係費が増加
 +124億円